

- 問1 18世紀後半にイギリスで改良され、産業革命を推進する大きな原動力となった動力源について述べたものです。1853年にペリーが率いる黒船が来航した際、それまでの帆を用いた日本の船とは異なり、風の力に頼らず航行することを可能にしていたこの動力源の名称を選びなさい。
(2023年 滋賀県公立入試 類似)
1. 蒸気機関 2. ディーゼルエンジン 3. ガソリンエンジン 4. 電気モーター
- 問2 幕末の長州藩は、当初は外国勢力を武力で排除しようとする強い姿勢を示していましたが、下関でイギリス・フランス・アメリカ・オランダの四国連合艦隊と交戦し敗北を喫しました。この経験を経て、長州藩がとった行動として最も適切な説明はどれですか。
(2024年 富山県公立入試 類似)
1. 武力による攘夷の不可能性を認識し、国を開いて外国の優れた技術や制度を取り入れようとする開国へと方針を転換した。
2. 西洋の文化を急速に取り入れるため、藩の制度を廃止して政府が直接統治する廃藩置県をいち早く提案した。
3. 天皇の権威を利用して外国を排除させたが、京都で尊王攘夷運動をさらに激化させた。
4. 外国の軍事力に対抗するため、幕府との協力関係をさらに強めて攘夷を徹底する体制を整えた。
- 問3 19世紀半ば、イギリスが清との貿易における赤字を解消するためにアヘンを密輸し、これを取り締まろうとした清に対してイギリスが軍事攻撃を仕掛けたことで始まった戦争は何か、選びなさい。
(2021年 岡山県公立入試 類似)
1. 太平天国の乱 2. 辛亥革命 3. アヘン戦争 4. 義和団事件
- 問4 日本の対外関係の歴史において、7世紀の白村江の戦いや13世紀の文永の役（元寇）と同様に、国家の大きな転換点となった1858年の出来事について、その後の影響として正しい説明はどれですか。
(2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 神奈川（横浜）、長崎、新潟、兵庫の港を開き、外国との貿易が本格的に始まった。
2. 不平等な条約内容を改正するため、岩倉具視を代表とする使節団が欧米へ派遣された。
3. 下関条約によって遼東半島を割譲させたが、ロシアなどの三国干渉により返還した。
4. キリスト教の布教を禁止するため、外国船の来航を長崎の出島のみに制限した。
- 問5 一八五三年に、マシュー・ペリー率いるアメリカの東インド艦隊が、江戸幕府に開国を求める親書を携えて来航した場所はどこですか。相模湾に面した三浦半島の先端付近に位置する、当時の外交上の重要地点の名称を答えなさい。
(2022年 滋賀県公立入試 類似)
1. 下田 2. 函館 3. 長崎 4. 浦賀
- 問6 独立後のアメリカ合衆国で制定された合衆国憲法において、権力の集中を防ぎ国民の自由を守るために採用された、国家権力を立法・行政・司法の三つに分ける仕組みを何と呼びますか。
(2025年 長野県公立入試 類似)
1. 社会主義 2. 議院内閣制 3. 直接民主制 4. 三権分立
- 問7 1842年、江戸幕府はそれまでの強硬な対外政策を改め、外国船に燃料や水を与えて退散させる「薪水給与令」を出しました。この政策転換の直接的な背景となった、イギリスが清を破ったアジアでの出来事として正しいものはどれですか。
(2021年 奈良県公立入試 類似)
1. 日清戦争 2. ロシアの南下政策 3. アヘン戦争 4. ペリー来航
- 問8 1840年に始まったアヘン戦争において、近代的な軍事力を持つイギリスに敗北した清が、1842年に結んだ南京条約の内容として正しいものはどれですか。
(2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 台湾をイギリスに譲り渡し、多額の賠償金を金で支払った
2. 北京に外国軍隊の駐留を認め、キリスト教の布教を公認した
3. 上海など五つの港を開港し、香港をイギリスに割譲した
4. 日本に朝鮮の独立を認めさせ、遼東半島を割譲した
- 問9 1857年から1861年にかけて、江戸幕府はイギリス、アメリカ、ロシアなどの国々と条約を締結し、貿易が本格的に始まりました。これらの国々と結んだ通商条約において、日本側の主権が制限されていた内容の組み合わせとして正しいものを選びなさい。
(2026年 山形県公立入試 類似)
1. 日本に貨幣鑄造権がなく、相手国にキリスト教の布教義務を認める内容
2. 日本に外交権がなく、相手国に港の永久割譲を認める内容
3. 日本に関税自主権がなく、相手国に領事裁判権を認める内容
4. 日本に土地所有権がなく、相手国に軍隊の駐留権を認める内容
- 問10 貿易が開始された1859年を境に、生糸の国内価格は急激な上昇を示しました。このような物価の変動が起きた直接的な理由として、最も適切な説明はどれですか。
(2026年 三重県公立入試 類似)
1. 主要な輸出商品となった生糸が大量に海外へ持ち出され、国内での流通量が不足したから。
2. 開国による混乱を避けるため、政府が生糸の生産を制限し、希少価値を高めようとしたから。
3. 世界的な絹織物不況により、海外へ輸出できなかった在庫が国内に滞留したから。
4. 海外からの安価な綿製品の流入に対抗するため、幕府が生糸に高い税を課したから。
- 問11 1792年のラクスマンの根室来航など、北方のロシアからの開国要求が高まる中、江戸幕府は蝦夷地（現在の北海道など）の直轄化や調査を進めました。この時期、幕府の命を受けて樺太（サハリン）に渡り、そこが島であることを確認した人物は誰ですか。
(2026年 青森県公立入試 類似)
1. 渡辺華山 2. 間宮林蔵 3. 高野長英 4. 伊能忠敬
- 問12 1862年、神奈川宿近くの生麦において、薩摩藩主の父である島津久光の行列を横切ったイギリス人を藩士が殺傷する「生麦事件」が発生しました。この事件の賠償を求めて翌年に鹿児島湾へ現れたイギリス艦隊と薩摩藩との間で起きた戦いと、その後の薩摩藩の動向について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 薩英戦争に勝利した薩摩藩は、イギリスとの間に日英通商航海条約を独自に締結し、領事裁判権の撤廃を認めさせた。
2. 生麦事件の解決のために下関条約が結ばれ、薩摩藩は多額の賠償金を支払う代わりに、イギリスから最新式の蒸気船を譲り受けた。
3. 薩英戦争が発生したが、この戦いを通じて薩摩藩は武力による攘夷の困難さを痛感し、イギリスへの接近や軍制の近代化へと方針を転換した。
4. 下関戦争が発生したが、イギリス軍を退けた薩摩藩は自信を深め、江戸幕府に対して異国船打払令を徹底するよう強く要求した。
- 問13 19世紀半ばの清において、イギリスが軍事攻撃を仕掛ける背景となった「三角貿易」の仕組みを正しく説明したものはどれか。
(2021年 岡山県公立入試 類似)
1. イギリスからインドへ綿製品を送り、インドから清へアヘンを送り、清からイギリスへ茶を売った代金の銀が流れる仕組み。
2. インドからイギリスへ小麦を送り、イギリスから清へ工業製品を送り、清からインドへ労働力を送る仕組み。
3. 清からイギリスへ生糸を送り、イギリスからインドへ武器を送り、インドから清へ香辛料を送る仕組み。
4. イギリスから清へ綿織物を送り、清からインドへ銀を送り、インドからイギリスへ茶を送る仕組み。